

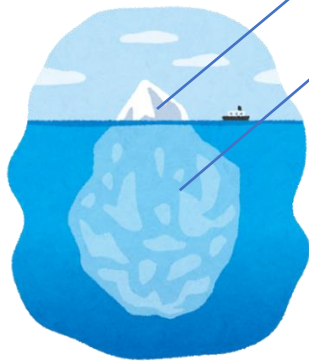
K-ライン

秋田県立栗田支援学校
地域支援通信
令和7年度 第3号
令和7年9月18日発行

本校では、「子どもからスタートすること」、「チームで取り組むこと」を大事にしています。今回のK-ラインでは、小学部の取組の一部を御紹介します。

「子どもからスタートする」ために「チームで取り組む」こと

「冰山モデル」の例



見えている姿

かくれている要因、背景

得意、不得意、経験、体調、
周囲の人との関係性、家庭で
の様子、障害の特性など

チームで取り組む！

「どうしてだろう」と考え、
話し合うことが、よりよい
指導・支援につながる。

→児童生徒理解に基づく指導

例) “注意されたことを繰り返す”

言葉での指示理解が難しい？
望ましい行動が分からない？
先生に見てほしい？
頭が痛くてイライラしている？

指導・支援の例

視覚的に伝えてみよう
正しい行動の練習をしよう
楽しい時間を共有しよう
休憩時間を取り入れよう など



小学部の紹介「日常生活の指導」～登校後の様子～



自分で荷物の準備をすることが難しい・・・

→やることが分かるように、登校後の活動について
手順カードを準備しました。

→手順カードは、情報量（文字、写真）と使いやす
さを試しながら改良しました。

<活動全体が見える物> <今やるべき活動が見える物>



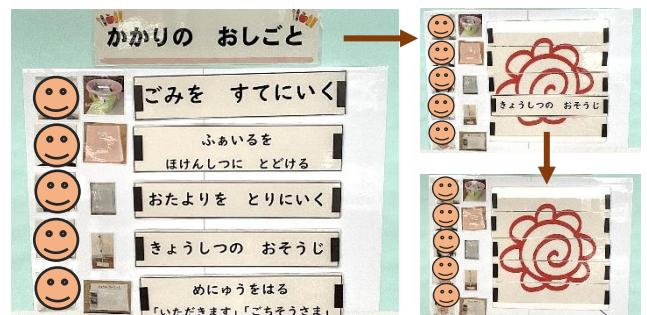
→自分から取り組むように、活動の最後に“お楽し
み（読書や制作の時間）”を取り入れました。

自分から係活動に取り組むようにするには・・・



→文字と写真（実際に使う物の写真）を活用した
ことで一人一人の役割が見やすくなりました。

→“終わったらカードを裏返す”ことで友達の様
子が分かるようにしました。



全員でできたら大きな花丸に！やる気もアップ！

子どもたちの思いや行動の背景も考えながら、
その子が分かりやすい方法、納得できる
方法を考えて試しています。



小学部の紹介「遊びの指導」～小学部1年生の取組～

Aさん 実態把握（本人・保護者の願い）



“思いつき体を動かして遊びたいな”
“友達と関わりながら過ごしてほしいな”
“興味・関心が広がるといいな”

→個別の教育支援計画の作成（支援目標）

Bさんの
支援目標



Cさんの
支援目標

→年間指導計画の作成

- ・様々な素材や道具を取り入れる
- ・やりとりの場面を設定する
- ・思いつき体を動かして遊べる安全な環境をつくる

「きらっとらんど～紙で遊ぼう～」

○まずは、素材に触れる時間を設定。教室の中は新聞紙のみで遊びました。



紙に触れるのを嫌がり、窓の外を眺めていたAさんの様子から…

「見て楽しめるように、紙のカーテンを作って扇風機で揺らしてみよう」

紙をちぎって楽しんでいたBさんの様子から…

「遊び方が広がるように、ちぎった紙を入れる物を用意してみよう」

紙をちぎって“おばけ”に見立てていたCさんの様子から…

「もっと工夫して作ることができるよう、素材や道具を増やしてみよう」

○子どもたちの様子からコーナー設定。仕掛けや道具を少しずつ増やしていきました。

コーナーを設けたことで、
同じ遊びに興味のある友達
と関わりが広がりました。



「つくってへんしんコーナー」

（お花紙、プラスチック容器、セロハンテープを準備）

・「私もお弁当を作りたい」と友達をまねたり、道具の貸し借りをしたりして遊ぶ様子が増えました。

「さわってかみかみコーナー」

（ちぎった新聞紙のプールとシャワーを設置）



- ・ちぎった紙を教師や友達と掛け合って遊ぶようになりました。
- ・シャワーの仕掛けが気に入り、自分から繰り返し遊ぶ様子も見られました。

「しんぶんカーテンコーナー」



・揺れる様子を見て楽しんだり、自分から手を伸ばしたりするようになりました。

遊びの終わりは“片付けの歌”や“片付けマン”
の登場で気持ちを切り替えて取り組みました。



障害理解学習
児童生徒の皆さん

キッズルーム
就学前の
お子さん

研修会
特別支援教育に
携わる方

教育相談
就学・進学・転学
をお考えの方

教育活動支援
学校 幼稚園
保育所等

県央地区高等学校特別支援チームより 研修会「気になる生徒の支援について」 詳細は次のページ！

御連絡ください



秋田県立栗田支援学校
TEL：018-828-1162
FAX：018-828-4720

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10
ホームページ <http://www.kurita-s.akita-pref.ed.jp>
メールアドレス kurita-s@akita-pref.ed.jp



本校HP

教頭：齊藤 理香 教育専門監：牧野 幸枝 地域支援部：照井 真紀子
特別支援教育アドバイザー：田口 睦子（秋田市教育研究所 Tel018-865-2530）

県央地区高等学校特別支援チーム

高等学校 特別支援教育 研修会 の御案内

県央地区の高等学校における特別支援教育についての情報提供を行い、特別な支援を必要とする生徒の支援と校内支援体制の充実に寄与することを目的とした研修会です。

今年度は個別の教育支援計画や、特別な配慮が必要な生徒への日常的な関わり等についての実践をお二人の先生から御紹介いただきます。

気になる生徒の支援について 学びませんか？

たくさんの御参加をお待ちしております！

期日・会場

◇ 令和7年10月15日(水)14:00~16:00

◇ 明德館ビル2階 カレッジプラザ講堂

(〒010-0001 秋田市中通二丁目1-51)

演題・講師

◇ 実践紹介1

「高校での実践を意識して～現場に広がらない悩ましい課題～」

男鹿海洋高等学校 教頭 澁谷 明人 氏

◇ 実践紹介2

「本校で心掛けていること」(仮)

秋田明德館高等学校定時制課程 教諭 亀井 学 氏

その他

◇ 受付は 13:30~13:55です

◇ お車でお越しの際は近隣の有料駐車場を御利用ください。

◇ お問い合わせ、申込み

県央地区事務局 栗田支援学校
Tel 018-828-1162 FAX 018-828-4720
教頭 齊藤 または 地域支援部 牧野まで

申込みはこちらから
(またはFAXで)



10月8日(水)までお申し込みください